

## 平成19年度 社会実験実施地域一覧

No.	地域	実験名称	実験概要
1	北海道 帯広市	帯広ホコテン・ばんば馬車トランジットモール社会実験	帯広駅周辺地区において、「ばんば馬車」によるトランジットモールの実施や、幹線道路における馬車の運行を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
2	北海道 弟子屈町	摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通体系構築社会実験	摩周温泉周辺地域において、車道上に自転車レーンを設置し、周辺への影響を検証する
3	北海道 倶知安町	道路案内情報のサービス向上に関する社会実験	倶知安町において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
4	岩手県 盛岡市	まちぐるみエコ交通転換社会実験	盛岡市において、道路空間再配分により自転車レーンや自転車駐輪場を設置し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
5	秋田県 秋田市	小規模堆雪場の活用による冬期道路機能確保の社会実験	秋田市内の市街地において、空地を利用した小規模堆雪場の確保及び市民協働による除排雪効果の測定等を行い、小規模堆雪場の有効性を検証する。
6	福島県 会津若松市	道路を活かした人に優しく、魅力的観光都市づくり検証社会実験	会津若松市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、トランジットモールや、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
7	栃木県 日光市	国際観光都市日光の門前町における沿道空間活用社会実験	日光市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
8	埼玉県 秩父市	秩父地区交通円滑化に向けた複合的社会実験	観光拠点である秩父市の羊山公園周辺地区において、携帯電話等を活用した情報提供とパークアンドレールライドを組み合わせて実施し、効果の検証を行う
9	東京都 中央区	日本橋みゆき通り江戸広小路路地空間復活社会実験	中央区において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、賑わい創出のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
10	東京都 世田谷区	道路空間の再構築による安全な自転車走行環境の創出社会実験	世田谷区において、狭い幅員での安全な自転車走行環境の実現を目指し、自転車の一方通行を促す実験、自転車レーンの設置を実施する
11	東京都 八王子市	歩行空間の安全性の向上を目指した道路活用社会実験	八王子市において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
12	新潟県 上越市	直江津地区まちづくり戦略プラン「モール化」推進社会実験	上越市直江津地区において、雁木を活用した停車スペースの設置等を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
13	滋賀県 守山市	にぎわい回遊歩行空間形成へ向けての交通社会実験	守山駅周辺地区において、ハンプの設置や歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
14	大阪府 大阪市	宗右衛門町 安心・安全の為の再生 道づくり社会実験	大阪市宗右衛門町において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う

15	兵庫県 尼崎市	「道路機能の明確化と啓発活動による交通円滑化」社会実験	尼崎市においてバスレーンのカラー化を行い、自動車やバスの走行性への効果を検証する
16	和歌山県 高野町	世界遺産高野山・歩いて周遊できる道づくり(仮称)社会実験	高野山において、トランジットモールや、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
17	島根県 松江市	松江しんじ湖温泉 そぞろ歩きの楽しめる社会実験	宍道湖周辺地区において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
18	島根県 松江市	ぐるっと美保関 鉄と文化を伝える歩行空間創出社会実験	美保関地区において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
19	島根県 津和野町	「通り名で道案内システム」実施社会実験	津和野町において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
20	岡山県 高梁市	城下町高梁の周遊型観光をめざす道案内社会実験	高梁市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
21	大分県 大分市	地域において持続可能な歩行者天国の実施社会実験	大分市において、トランジットモールを試行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
22	宮崎県 日南市	「道」と「通り名」を通じた地域情報提供の高度化社会実験	油津地区において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する